鎌倉朝日新聞社
広告をお待ちしています
地域の活性化のためにも
TEL 0467(24)8553
FAX 0467(23)1205

お掃除サービス・家事お手伝いサービスなら
ダスキンメリーメイド鎌倉店
☆エアコンクリーニングなどのプロのおそうじ
ダスキンオークラサービスマスター
0120-3-82820
●ダスキンオークラトータルグリーン(造園と庭木の管理)も好評受付中です!!
ダスキンオークラ 検索
www.duskin-city.com

鎌倉はんこ KAMAKURA HANKO
鎌倉市御成町5-6 TEL 0467-37-9297

過度のハンコレス化に「待った！」

ハンコのあり方伝える店「鎌倉彫印鑑」発売

押印の機会を減らすハンコレス化へと日本社会が舵を切る中、ハンコ文化の大切さを訴える声も上がっている。鎌倉市御成町にある印章店「鎌倉はんこ」代表の月野允裕さんは、「日本文化の中に根付いてきた本来の印章のあり方を広く知って欲しい。行き過ぎたハンコレス化には弊害が多い」と語る。

月野さんは、70年前に奈良で創業した印章店の3代目。5年前に鎌倉に店を構えた。以来、欧米人観光客も多く訪れる人気店となり、英語のハンコを作る機会も増えた。

最近のハンコレス化の動きについて、月野さんは「現代の日本社会は、形式化した押印が増え過ぎてしまった。明らかに無駄で非効率な押印は無くした方がいい」と一定の理解を示す。

その一方で、「印章は本来、お互いの『意思』や『責任』を確認し合うために欠くことのできない必需品。西暦701年の大宝律令の頃から受け継いできた大切な日本文化であり、この独自性を消滅させてはいけない。国民一人ひとりが、人生の節目でしっかりと押せる大切な一本を持って欲しい」と話す。

月野さんは鎌倉での開業以来、「鎌倉らしい印章」の開発に力を入れてきた。「鎌倉は、鶴岡八幡宮で正月に行われる『御判行事』や、神社・寺院の御朱印など印章文化が長く根付いていて、様々なことに取り組める地域」という。今年10月に伝統鎌倉彫事業協同組合と連携した「鎌倉彫印鑑」の販売を開始した。

この印章の材料にはツゲを使用。持ち手部分には、鎌倉彫の職人がサクラやツタなどの伝統的意匠を彫り、周囲の漆も鎌倉彫の塗職人が仕上げている。24,980円から。店頭かWEBサイトで購入できる。来店はコロナ禍の影響で予約制となっている。

「鎌倉彫印鑑」を手に月野さん

スケッチ日和 ㊴

「光明寺裏山より」
黒川 明

この秋はワクワクしている。台風が来なかったので、きっと、きっと紅葉が素晴らしいだろう。

光明寺の先を、第一中学校に向かって登って行くと、光明寺を見下ろす展望台に着く。前から描きたいと思っていた場所なのだが、木が茂ってほとんど見えない状態。うろうろと歩き回っていたら、藪からオオスズメバチが向かってきた。5センチはあろうかという立派なやつ。

まだ紅葉は始まったばかりだが、傾く陽がすべてを秋色に染めていた。

水彩画　31×41㎝

写真展やまちづくりのトーク

鎌倉市民活動フェスティバル

22回かまくら市民活動フェスティバルが10月31日・11月1日の両日鎌倉市台のたまなわ交流センターで開かれた。

1日目は、今回2回目となるSDGsフォトコンテストの表彰式が行われた=写真下。SDGs17の開発目標の1つに焦点をあてた写真作品の募集で、約100点の応募作品の中から10点が入選。

入賞者は次のとおり。最優秀賞＝Goal12曽我菜々美、市長賞＝Goal3山口依乗、市議会議長賞＝Goal15小笠原千秋、NPOセンター賞＝Goal11ゲストハウス彩鎌倉、鎌倉朝日新聞社賞＝Goal2長原桂、鎌倉ユネスコ協会賞＝Goal4野口稔、高徳院賞＝Goal16橋本等、優秀賞＝Goal8佐藤みなこ Goal13望月高明 Goal14悦田和久（敬称略）

SDGsフォトコンテスト写真展、市民活動登録団体の紹介パネル、鎌倉の海や山の産物で作ったオブジェが展示され、鎌倉のまちづくりやみどり、共創、観光を考える話し合いが市役所の担当課と市民活動団体らの間で行われた。

「鎌倉×観光×教育」と題した鎌倉市観光協会・大津定博専務理事と公文国際学園の齋藤亮次教諭のトークでは、鎌倉の特色や魅力、観光の課題があがった=写真左上。参加者の鎌倉生まれ鎌倉育ちの年配者は、御谷騒動を例にあげ、鎌倉は住民が力を合わせてまちづくりをしていると話し、鎌倉の海で清掃活動をしている大学生グループは住んでいる人のつながりが強いのが鎌倉の魅力、自然を子ども世代に残したいと思いを語った。

鎌倉彫リメイク無料相談

長年使っているお椀の漆がはげてしまった、ヒビが入ってしまった」などでお悩みの方いらっしゃいませんか。

伝統鎌倉彫事業協同組合（鎌倉彫工芸館）が12月1日から鎌倉彫製品、及び漆器類の漆再加工、破損、ヒビなどの修復の相談サービスを始めた。

鎌倉彫を末永く愛用してほしい、長年自宅などで保管されている鎌倉彫製品を見直してほしいと始めたサービスで、受付は火曜から金曜午前10時～午後4時。☎0467・23・0154 メール info@kamakurahori.or.jp

車を売りたいと考えている方へ

地域密着、安心の車買取店

電話一本で無料出張査定

『乗らない車がある』『安心して車を売りたい』そんな人にお勧めしたいのが、鎌倉で多数の実績をもつ、車買取店「ハッピーカーズ鎌倉店」。

大きな店舗を持たず、地域密着の出張査定に特化することで、抑えた経費を買取金額に還元している。

「最近は、運転を卒業される方からのご相談やお問い合わせを多くいただいています。親切・丁寧・確実な対応で安心して売却できる地元の車買取店の当店に、お任せください」と坂野代表。

同店では他社で査定額が0円と言われた車も最低2万円以上で買取る（1600cc以下は5千円以上）。手続きや車の引き取りも無料。代金は即日現金払い。名義変更の完了通知も送付するから安心だ。

ハッピーカーズは全国約70店舗を展開する車買取専門店。車の売却を考えている人は一度、連絡してみてはいかがだろうか。

ハッピーカーズ 鎌倉店（七里ガ浜オフィス）☎0467・81・4641 9時～21時・定休日なし

「自動車税の還付手続きも行います（軽除く）」

明治～昭和の逗子の写真展

木工職人が当時語るトークも

日本の伝統や職人の技が生きるこだわりの道具や食品の品揃えが人気のセレクトショップ「紡氣（つむき）」が、店舗2階に市民向けのサロンスペースを開設した。

昨年7月逗子郵便局前に開業した同店は、顧客との何気ない会話の中から特技や知識を持つ高齢者が多いことに気づき、発表や交流ができる場を作れないかと発案。

11月には「逗子の古い写真と古い話」と題した明治～昭和の市内の風景が伝わる写真展を企画した。集められた約200枚の写真は、詰めかけた海水浴客で芋洗い状態の逗子海岸や、現在のロードアシス付近にあった水族館、夏場だけの遊園地コニーランド、商店街や学校、駅前の様子など、当時を知る人には懐かしく、若い世代は往時の賑わいに驚く人も多かったという。週末にはゲストを招いた座談会もあり、7日には木工芸職人の坐間藤五郎（まとうごろう）さん（79）が登壇。元禄期から農業や材木商を営みながら七代続く坐間家の歴史や、横須賀海軍工廠の技手で、生まれたばかりの息子を残し亡くなった父の日記や家訓が披露され、家族を思う父の言葉を胸に生きて来た藤五郎さんに参加者も共感。逗子の昔の様子などを語らいあった=写真。

同サロンでは買物途中でも気軽に立ち寄れるよう200円で日本茶とコーヒーも提供。高野博子店長（57）は「この店を通して人のつながりが生まれれば」と今後も市民のために役立つ企画や季節に合わせた催しを行っていくという。（K）

午前10時～午後5時（木曜定休）☎046・876・5011

美容通信 第2回
小さなたるみとり！ミニリフトって!?

口もとやフェイスラインのたるみを治療するとして糸を入れたり、レーザー治療を行うのでは満足のゆく結果は得られません。何故なら皮膚や表情筋の筋膜（SMAS:スマス）が重力で垂れ下がり余るので、糸やレーザーでは理論的にこの余った皮膚をなくすことが出来ないからです。このような場合は余った皮膚やSMASを切除するフェイスリフトを行います。フェイスリフトは日帰り、局所麻酔で行えて、頬・目もと・フェイスライン・首のたるみを一気に引き上げるため、高い効果は得られますが予算や時間が掛かります。そのため、当院では『ミニリフト』といってフェイスリフトの3分の1の予算で出来る方法を考案しました。ミニリフトもSMASをしっかり引き上げ、フェイスラインから首もとまで、少ない切開で最大限の引き上げ効果が期待できます。施術時間は約一時間半、術後はテープで固定して帰宅できます。また内出血や腫れもフェイスリフトに比べ少なく、人気の施術となっています。

院長 丸山成一
日本形成外科学会認定専門医
日本美容外科学会認定専門医
日本レーザー医学会認定指導医・専門医
ヒルズ美容クリニック
完全予約制 TEL0466-55-6737
受付 10時～19時 休診日 火曜 ※土日祝も診療
藤沢市南藤沢21-8 大安興業ビル7F
藤沢駅 南口ロータリー 至大船→ ODAKYU湘南GATE ●とんかつ和幸 ファミリーマート 当院7F
藤沢駅徒歩2分